

～ 貴重なご意見ありがとうございました。～

## 国土利用計画（千曲市計画）（案）に対するパブリックコメントの概要及び市の考え方

No.	受付日	意見等の概要	意見等に対する市の考え方	提出区分
1	H20. 2. 6	<p>川西地区は大型店が次々と建ち、そのため地元商店街が退けてしまいました。文化と祭りの衰退です。川東もそうです。日本全体がそうです。</p> <p>川西の田毎の月、桑原、太田原は日本の原風景がまだ少し残っています。残したいです。川西の水田で収穫できる米のブランド化をすすめたい。りんご、ぶどうの労力をJAと一体となって確保し、農地を守る。</p> <p>18号バイパス沿いに、道の駅を作る。大型店は建てない。地元の酒、みそ、しょうゆを大事にしたい。水田で米、大豆を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用の基本方向を従来の量的拡大から、質的な向上を図る方向に転換するとともに、市街地再生へ向けての取り組みを進めて参ります。また、地域の歴史、文化、景観など適切に保存継承し次世代へ継承します。</li> <li>・地域資源を活用し、地域産品の付加価値を高めていく地域ブランド化を推進します。</li> <li>・道の駅について、現在のところ具体的計画はありません。</li> </ul>	パブリックコメント
2	H20. 2. 8	<p>ごみ焼却施設の説明と場所を。住宅地は反対する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設候補地の公募を実施するとともに、小学校区単位に説明会を開催しご意見を頂きましたので、建設候補地の選定に当たって考慮して参ります。</li> </ul>	千曲商工会議所
3	H20. 2. 12	<p>1 千曲川南西側（更級地域・上山田地区）に工業用途地域の設定が必要である。</p> <p>2 工業立地としては更埴インターチェンジ周辺が交通の利便性から理想だが、工場用地としては地価が高く採算性がとれないデメリットもある。 *工場用地価としては坪5万円以下が望ましい。</p> <p>3 18号バイパスを早期に延長し千曲川左岸の丘陵地に工場団地を開発すべきである。</p> <p>4 嬉捨サービスエリアの取り付け道路の拡幅により、流通利便性を拡大することにより、更埴インター周辺ばかりでなく嬉捨サービスエリアの工業用地確保も促進すべきである。</p> <p>5 外部より工場（研究開発型企業が好ましい）を誘致する場合、税務面での優遇策も合わせて提示する必要がある。 *不動産取得税、企業法人税等及び補助金制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～4について 工業用地の確保については、交通などの物流基盤整備の進展度や立地条件を考慮し、今後10年間の目標として設定しました。</li> <li>・5について 企業の投資先としての魅力を高めるため、産業振興ビジョンに沿い、優れた研究体制の整備や産業クラスターの形成を促進するほか、商工経済団体との連携による企業誘致及び支援体制の充実を図り、魅力ある産業立地環境の整備を進めて参ります。</li> </ul>	戸倉上山田商工会

4	H20. 2. 14	<p>中山間地域の問題は、辺地より若者が去り、又減少している中、高齢化が進んでいる状態、ともなって農業の担い手が減少し、年を重ねて重労働を余儀なくしている現状、今、空いている市の土地を利活用してお年寄りが、ほっと一息、安心する憩いの場が必要ではないでしょうか。</p> <p>温泉施設、レクリエーション施設等、観光振興は徐々に発展はしていますが、個々への支援、お互いが支え合う、地域福祉に目を向けていく重要性が感じられます。</p> <p>地域の自然の景観、文化や歴史の面を考慮しながら地域が元気で暮らしていけることを提案します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢社会を迎え、自分らしく心豊かに安心して暮らせる地域社会を実現することが求められていることから、高齢者が住み慣れた地域で元気で心穏やかに暮らせる環境整備を進めて参ります。</li> <li>・ お互いに支え合う地域福祉社会の形成については、総合計画に基づき計画的に進めて参ります。</li> </ul>	パブリック コメント
5	H20. 2. 20	<p>千曲市として将来に向かって目を向けていくところは、私は 18 ページの西部市街地地域だと思う。この地域は将来バイパスが通り、いろいろな形で発展していくと思う。しかし、行政は道路に関する事など問題が山積している。25 ページにわたるこの計画(案)の中では、問題の捉え方が少ないと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地利用計画は、土地利用上の基本的な事項について示したものです。土地利用の最上位計画が国土利用計画で、施策・まちづくりの方向性を示した最上位計画が総合計画であります。また、同時に都市計画マスタープランの地域別構想が 20 年度中に策定することになっておりますので、それぞれの計画で問題を捉え、方向性を定めて参ります。</li> </ul>	地域審議会
6	H20. 2. 20	<p>19 ページの南部市街地地域で触れているのは、上山田の温泉地域と力石地域しか記述がなく、私が住む戸倉地区は今後 10 年間、何の計画もなく寂しく思う。</p> <p>また 13 ページの図面の凡例で商業地域がなぜ出てこないのか。またエコについても何にも触れていなく、省エネを模索したところもないようだがお聞きしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この計画は土地利用上の基本的な方向を示すものです。エコの問題などは総合計画の中で示しており、さらにその下の計画である環境基本計画の中では細部について示しております。土地利用計画で全てについて計画していくことは難しいことであり、それぞれの計画が役目を果たしていくということをご理解をお願いします。</li> </ul>	地域審議会
7	H20. 2. 20	<p>計画では 10 年後の人口を 6 万 1 千人と予想し、人口が減少していくとなっている。もっと積極的な人口増の政策にしかるべきと考えるが考えをお聞きしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国のすう勢として人口減少に歯止めがかからない状況があり、総合計画のときも議論されましたが、施策としては産業振興を重点施策として考えました。国土利用計画の中でも工業振興というところに視点をあてて、施策を進めて参ります。</li> </ul>	地域審議会
8	H20. 2. 20	<p>この計画が達成する 10 年後のイメージはこんな感じだと、具体的にイメージできるものがあったら教えていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土利用計画は、平成 19 年 4 月からスタートした総合計画を実現するための土地利用に関する計画です。地域別の計画について、より明確にしていくものが平成 20 年度に策定する都市計画のマスタープランであり、その中で具体的なものが示され、さらに具体化していくということになれば用途地域の見直しというものになって参ります。このような一連の作業を続け、具体的なイメージを形成して参ります。</li> </ul>	地域審議会

9	H20. 2. 22	<p>1. 千曲市の魅力は、田園や山地に囲まれた山里の農地景観も住みよい街の象徴的なものであり、総合計画で掲げる「ふるさとの自慢を未来に継ぐまち」、この自然との共生や持続的な農業の実現には農地の確保が重要と考えます。H18 及び H19 年度に提出した建議書においても「土地利用計画」の項で集团的優良農地の確保を要請しています。土地環境の変化もありますが、工業分野の振興と調和のとれた実現性のある計画策定とされたい。</p> <p>2. 土地利用の転換にあたっては、住民や農業者の理解のもと優良農地確保との調整を図られたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 について 6 ページに記述してあるとおり、農用地は主要穀物及び農作物の供給基地であり、また農業者の生産基盤並びに生活基盤であるとともに、自然環境の維持・保全機能も担うなど多面的機能を併せ持っていることから、まとまりのある優良農用地の保全、土地利用の混在化の防止、農用地の遊休・荒廃化の解消を進め、安全安心な農作物の安定供給を図ります。</li> <li>・ 2 について 土地利用の転換にあたっては、合意形成を図りつつ慎重な配慮の下で計画的な土地利用を進めて参ります。</li> </ul>	農業委員会
10	H20. 2. 26	<p>近藤新市長により新幹線駅誘致の方針が出されたので、もう少し明確に入れるべきである。</p> <p>国土利用計画で一番大きな問題であり、誘致する上でしっかり計画しなければ出来ない。今回具体的に入れ込まなければ乱開発が進み不可能になる恐れがある。</p> <p>10 年計画において新幹線駅問題は最重要課題の位置付けをすべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新駅誘致に向けての取り組みを促進いたしますが、解決すべき課題等も山積していることから、実現性の進展度を見ながら計画の総合的な点検を行って参ります。具体的な取り組みについては、個別施策で対応して参ります。</li> <li>・ 乱開発に対する懸念ではありますが、都市計画諸制度を適切に運用する中で秩序ある土地利用を進めて参ります。</li> </ul>	産業振興審議会
11	H20. 2. 29	<p>1 交通網等のインフラ整備（18 号バイパス及び新幹線新駅の早期実現、IT 基盤の整備）</p> <p>計画案の中に書かれておりますが、交通の要衝として、主要道路の整備は早急に実現して頂きたいと考えます。高速道路更埴 JCT・更埴 IC の「更埴」から「千曲」への名称変更を含む。また、そのような中で、企業誘致等考えた場合、IT 基盤の整備は必要だと考えます。</p> <p>2 各観光エリアの保全と開発</p> <p>恵まれた自然環境、数々の名所旧跡は当市の財産です。これらを壊すことなく次世代に渡していくのは現在の使命であると考えます。よって、それらの保全は義務であるのですが、そこに訪れる多くの観光客がおり、そこへのアクセスの向上は必要だと考えます。</p>	<p>1 について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道 18 号バイパス整備については、引き続き整備促進を要望して参ります。</li> <li>・ 新幹線新駅については、誘致に向けての取り組みを促進いたしますが、解決すべき課題等も山積していることから、実現性の進展度を見ながら計画の総合的な点検を行って参ります。具体的な取り組みについては、個別施策で対応して参ります。</li> <li>・ 更埴 IC・JCT の名称変更については、引き続き関係機関に働きかけて参ります。</li> <li>・ IT 基盤の整備を含む産業基盤については、総合計画及び産業振興ビジョンに基づき整備を進めて参ります。</li> </ul> <p>2 について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市が誇る地域資源を活用した広域観光ルートの設定や観光地間を支える交通ネットワークの整備を進めて参ります。</li> </ul> <p>自然、景観保全については、現行の土地利用関係法令の適切な運用を図るとともに、景観条例などに基づき適切な規制・誘導を図</p>	千曲商工会議所 運輸情報部会

ただそれが乱雑に開発するのではなく、自然とふれあい、景観を楽しみ、散歩出来る、いわゆる自然公園的な物になるよう条例などで色分けして計画して頂きたいと考えます。

### 3 地産地消を見据えた農業振興

食の危機が呼ばれている今日、本市としても農地確保及び農業振興は考えなくてはならないものだと思います。とはいうものの、この地域だけ食料自給率を上げる事は不可能だと考えますが、当地域で作った物を、当地域で消費することは可能ではないでしょうか。そのシステムを官民一体となり確立すれば、食の安全が確保され、ひいては農作物の千曲ブランドの確立にもつながり、農業従事者の減少にも歯止めがかかるものと考えます。

### 4 しなの鉄道主要駅(屋代、戸倉)周辺の土地開発を含めた整備

新駅が立ち上がり、その周辺の整備が取り沙汰されておりますが、駅舎及び周辺規模からしても、既存の屋代、戸倉に代わるものではないと感じます。よって、新駅及びその周辺整備はして頂くとしても、千曲市の玄関である屋代駅及びその周辺、戸倉上山田温泉の玄関である戸倉駅及びその周辺の整備、並びに再開発を含めた都市計画事業の着工は、早急に対応して頂きたいと考えます。

### 5 より多くの人々が住まうべく宅地振興と住民サービス

どうしても、この地域の発展を考えると産業振興になりますが、本市の住民の多くが本市以外(長野市、坂城町等)に勤務しており、その事を考えると一時期言われた近隣地域のベッドタウンでもあると言えます。昨今、人口の高齢化と少子化が進んでおりますが、そのような時だからこそ、本市の若年層の世帯(20代~40代)が定住すべく施策を取り入れ、独自の宅地振興と住民サービスが必要ではないかと考えます。また、そうした場合、千曲市民が誇りに思えるような行政サービス(千曲市野球場及び運動公園設立、老人世帯向けサービス等)を要望致します。そして何より、若年世帯の誘致、定

って参ります。

### 3について

・食料の安定供給を行っていくためには、農業生産の増大を図ることが基本であることから、良好な営農条件を備えた農用地などを確保し有効利用を図ります。また、生産者の顔が見える地域の農産物・食品を購入する機会を提供する「地産地消」を推進します。  
また、異業種も含めた食料産業クラスターの形成等、産学官の連携の形成や産地ブランドの振興等を通じて、農業と食品産業との結び付きや異業種の知恵を活用し農業の競争力の強化を図ります。

### 4について

・現時点で整備計画はありませんが、都市機能の集約化のための交通基盤の整備という観点から検討するとともに、戸倉駅前広場を含めた街路整備については、県に要望して参ります。

### 5について

・少子高齢化の進行に伴って持続可能な地域社会の形成が重要性を増してきています。このような中で将来にわたり多世代がともに安心して暮らせる生活圏域を整え、地域独自の資源を生かした産業の活性化など、地域の自然的・社会的特性を踏まえた上で、有効かつ適切な市土利用を進めて参ります。  
野球場、運動公園等については、総合計画に位置付けておりますが、財政状況を考慮する中で計画的に進めて参ります。

		<p>住がこの地域の活性化を呼び、地域の発展に寄与するものと考えます。</p> <p>以上、直接的な当該地域の国土利用からは若干外れている部分もあるかと思いますが、この地域で育ち、この地域の自然の恩恵に与ってきた者だからこそ千曲市の発展を望みます。限りある資源の中で、残すべきものは残し、開発するものは開発し、次世代により良いかたちで継承出来たらと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見の趣旨について計画に反映して参ります。</li> </ul>	
12	H20. 2. 29	<p>川西地区は、社会資本の蓄積が大変遅れている。特に八幡地区に関しては、その威が多々ある。</p> <p>そのような現況の中から考えると、国道 18 号バイパスの西側また代地区の土手下一帯等を農振地区から変更し、その活用にしても良いのではないか。</p> <p>上信越自動車道西側から住宅地に近接する一帯について住居系用途の指定を検討するとあります。</p> <p>① 少子化の進行等で平成 27 年には人口 60,919 人を推計している近隣市町村のベッタウン化する計画もない これ以上住居系用途が必要なのか</p> <p>② 農用地については、今後はまとまりのある優良農用地の保全、土地利用の混在化の防止とあり、食料自給率 40%を割る現在、食の安全のため農地について考える必要がある。</p> <p>③ 科野の里歴史公園周辺に新幹線新駅等の都市基盤整備とあります。</p> <p>新幹線新駅とこの農地転用をセットで考えていただきたい。 新幹線新駅が出来ただけでは弱体です。この新駅を利用したものであれば活性化ができます。</p> <p>この広大な土地(市内では 2 度と出ない広さがあると思います)を千曲市と近隣市町村の発展のために目的をもって転用していただきたいと思います。</p> <p>例として県庁の誘致(今の県庁は耐震基準に合格していない)国の機関、森將軍塚古墳を生かした古代の研究所+恐竜博物館等。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用の基本方向を、従来の開発を中心とした量的拡大(利用面積の拡大)から保全を図る質的向上に転換を図るとともに、開発と保全を明確化し、市の発展方向を見据えた土地利用を進めて参ります。</li> <li>・遊休・荒廃農地の解消を進めるため、農業基盤整備などの基礎的条件的整備を進めるほか、担い手の育成・確保を図ります。 また、中山間地域等の生産条件の不利な地域については、農業の多面的機能(自然景観・防災等)を確保するため、農道、用水路の整備など生産条件を補うための施策を進めます。</li> <li>・新幹線新駅誘致に向けての取り組みを促進いたしますが、解決すべき課題等も山積していることから、実現性の進展度を見ながら計画の総合的な点検を行って参ります。</li> </ul>	千曲商工会議所 八幡支部

13	H20. 2. 29	<p>① 商店街に介護施設を誘致し、当該地区住民が(商業者も含む) 互助組織を構築して施設に資本的な参加をする。</p> <p>② 商店街の車道や歩道の有効利用を行政に働きかける。</p> <p>③ 屋代駅付近に集合住宅を建設し、商店街の居住人口の増加をはかる。</p> <p>④ 中心市街地の再開発を計画する。①などを含み、また市営駐車場が不可能ならば商店街の管理できる駐車場への助成を望む。</p> <p>⑤ 大型店進出などの情報はすみやかに情報公開する。</p>	<p>・①～④について これまで、中心市街地の活性化については、商店街等の活性化を中心とした対策にとどまり、都市機能の集約という観点に乏しかった面があります。 今後、従来の商業関係者に加えてまちづくりの方向をリードする専門家、地権者等、幅広い立場の主体が参加できる組織を整備し、必要な事業を一体的に推進する仕組みや集中的に実施していくための支援制度の充実を図ります。</p> <p>・⑤について 可能な限り努めて参ります。</p>	千曲商工会議所 商業部会
14	H20. 2. 29	<p>一目十万本といわれる日本一のあんずの里も最近は数も減ってきているようです。 千曲市の真ん中を流れている川の土手をあんずで埋め尽くすような大々的な景観をつくるのも良いかと思います。 そして観光の資源にするために少しでも美味しいあんず(例えばハーコット)とか、戴着喜んでもらえるものに。 新幹線は千曲市の振興には必要に思います。地域活性化に基盤を強化していくのに良いと思います。若い人達が市内に魅力を持つようにしないと過疎化が進みます。格差をつくってしまうような気がします。</p>	<p>・本計画案の基本方向に、「美しい風景・景観の形成」を掲げております。 現在策定中の景観計画などを活用し、良好な景観形成と緑豊かな環境整備を進めます。</p>	千曲商工会議所 サービス業部会
15	H20. 2. 29	<p>1. 稲荷山の信金がある道路について考える ・広げることばかり考えないで狭くしたらどうか? ・一歩通行にし、片方に歩道をつくる ・道路の段差をなくす ・車椅子・ラクター・障害者・足腰の悪い人・老人が安心、安全に歩ける町づくり</p> <p>2. 街並保存策として蔵の町景観条例を市条例として可決していただきたい。 ・個人の家・商売の品・写真・美術等を見てもらう。それを空き家屋に充てる。</p>	<p>・1について 道路や公園などの公共施設の整備にあたっては人優先のみちづくりや死角をつくらない夜間照明の配置等、安全で暮らしやすいまちづくりを推進します。また、障害の有無、年齢、性別等にかかわらず多様な人々が移動しやすいようにバリアフリー空間の形成を進めます。</p> <p>・2について 良好な景観は、美しく風格のある市土の形成とうるおいのある豊かな生活環境の創造に不可欠なものであるため、市民共有の財産として将来にわたってこれを享受できるよう整備・保全を図って参り</p>	千曲商工会議所 サービス業部会

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵の町に補助金を出して積極的に保護に働きかける。</li> <li>・道路を広げないで歩いて安心な町並みを考える</li> <li>・高村邸の空き家屋を見学できるように交渉してはどうか。</li> </ul>	<p>ます。また、その取り組みについては行政、事業者、市民が一体となって進めていくことが重要であると考えており、現在策定を進めております景観計画等の制度活用を図るとともに、まちなみ保存に対する合意形成を進め暮らしやすい地域づくり、まちづくりを推進します。</p>	
16	H20. 2. 29	<p>観光面でのキーワードは「食べる文化」であると思う。集客には食が大切。観光地をタクシーでまわる周遊券など作ってみてはどうか。</p> <p>新幹線新駅誘致については、飯山へ延びていく段階で新駅を作ると経費が少ないときいている。川西地区には上田篠ノ井バイパスを建設中であるが、それでどの程度人が集まるか。魅力ある町、ナンパーワンではなくオンリーワンのものを作る。何から始めるかは難しいが、若い人が住みたいと思う町をつくる。家を建てやすい制度などを考える。それにあわせインフラの整備が必要。</p> <p>住宅建設、千曲市は少ない。上田・長野のベッドタウンとして電車通勤しやすい駅周辺に計画を。千曲市は土地が狭い。平らな所がない。自然を生かし観光面で生きるか。工場を誘致して工業で生きるか。製造業が盛んになると人が外から入ってくる。棚田など利用できないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光については、本市の重要な産業基盤のひとつであり、地域独自の資源を生かした新たな観光スタイルの創出を促進します。</li> <li>・新幹線新駅誘致に向けての取り組みを促進いたしますが、解決すべき課題等が山積しており現状では厳しい面もありますので、実現性の進展度を見ながら計画の総合的な点検を行って参ります。</li> <li>・市民生活の場としての安定した生活空間を構築していくためには、暮らしの面からの取り組みと同時に生活の糧としての産業を活性化させ、雇用を創出し、次代を担う若者が住んでみたい、住み続けたいと感じるまちづくりが重要です。具体的な取り組みについては、総合計画基本計画に定めた施策を着実に実施して参ります。</li> </ul>	千曲商工会議所 理財部会
17	H20. 2. 29	<p>産業振興ビジョンをより現実化するのに最も重要なのは、アクセスの徹底だと考えます。</p> <p>(1) 新幹線新駅の特別委員会の開催、及び有識者による審議会の立ち上げ。</p> <p>(2) 姨捨サービスエリアでのスマートインター接続の道路設備及び上下線利用。</p> <p>の計画費が必要と考えます。</p> <p>現在千曲市は、人口の減少はあるものの、戸数は微増しています。18号バイパス周辺を特に千曲川寄りの商業施設と住宅地の計画ですが、現状以上になることには反対です。</p> <p>稲荷山、八幡中心地がさらに空洞化し、バイパス周辺が新しい家並みや商店街化すると、今ある農地がさらに減少してしまいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1) について ご提案については、今後総合的に検討して参ります。</li> <li>・(2) について 利用の拡大に向けて、個別の事務事業で対応して参ります。</li> <li>・従来の開発を中心とした量的拡大（利用面積の拡大）から土地利用の質的向上に転換を図ることを基本としておりますが、ご指摘の国道18号バイパス周辺地区（千曲川寄り）地区については、川西地区活性化に向けての期待感もあることから、市の発展方向を見据えた土地利用を進めて参ります。</li> </ul>	千曲商工会議所 料飲部会

		<p>農地があるからこそ温暖化の防止に繋がるし、田園風景をつくり出します。中心地の活性化に力を入れるべきであり、これ以上の農地転用は避けるべきである。農業の後継者が居ないという問題もありますが、その解決策も考えるべきではないでしょうか。</p> <p>現在、国道 18 号線は常に渋滞しています。そのための解決策としてバイパスなどの道路の拡張あるいは作っています。この 18 号を少しでも住宅を少なくする方法のひとつとして、信号の時間と右折車の禁止をしてはいかがでしょうか。特に杭瀬下交差点、埴生公民館交差点など、右折レーンがない交差点は右折禁止にすれば少しは解消されます。</p> <p>ある意味で生活道路になっていますが、ちょっと回り道ですむと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の活性化については、これまで商店街等の活性化を中心とした対策にとどまり、都市機能の集約の観点に乏しかった面があります。</li> <li>今後、従来の商業関係者に加えてまちづくりの方向をリードする専門家、地権者等、幅広い立場の主体が参加できる組織を整備し、必要な事業を一体的に推進する仕組みや集中的に実施していくための支援制度の充実を図ります。</li> <li>・ 農業後継者対策については、認定農業者制度等の活用を進めるほか、集落を基礎とした営農組織の育成を推進し、効率的かつ安定的な農業経営を確立するため施策の充実を図ります。</li> <li>・ 渋滞解消対策のご提案については、道路担当部局において検討します。</li> </ul>	
18	H20. 2. 29	<p>土地利用については、過去の経緯と現在の環境そして、将来の構想が必要であります。私は、「市総合計画のまちづくりの基本課題」の「生かしたいもの」を大切にしたいと考えています。基本的な考え方として千曲市には、「コンパクトなまちづくり」に期待します。コンパクトは小型という意味ではなく、質の密なという意味であります。現有する各地域の歴史と特徴を生かして、賛否はあると思いますがゾーンづくりに期待しているものです。</p> <p>経済活性化と環境保全・安全・安心な市民生活、歴史・文化と自然環境を将来にわたって、保全・共生・発展させ土地利用のそれぞれにあると思われる住む人・使う人への役目をより果たすためには「奨励ゾーンを設けるべき」と考えています。</p> <p>ゾーン化により集団的な利用によるメリットを生かそうということで、その土地が質的に向上するということにあると思います。</p> <p>環境保全の面・循環型を推奨する考え方、防災、逆にゾーン化す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画は土地利用に関する総合的かつ長期な基本方針を定めるものでありますので、ご意見の趣旨を参考にして計画案に反映して参ります。具体的には総合計画基本計画や産業振興ビジョン等の個別計画、施策で考慮して参ります。</li> </ul>	千曲商工会議所 工業部会

ることによる歴史や自然環境の保護、歴史施設や観光資源がある他地域との差別化を鮮明にできると思います。

言いたいことを明確にするための例ですが、基本目標にもある産業基盤の確立という面でいうと、当市では中小企業の保護（環境保全などの法的規制から、雇用とか有能な人材確保の面から）に役立てることも必要だからです。

人口の減少、住工混在があり将来性への問題もみられる当市ですが、「安全・安心」は単なるセキュリティの問題ではなく、財政の安定・雇用確保・働く環境づくり・明るい家庭としっかりした教育で、その財源確保は現実的な課題だと思います。

その確保の担い手の重要な部分に産業振興があると思っています。隣の坂城町は、歴史・成り立ち・工業の規模が住民の中に混在できるもので、当市の多様な業種・企業規模・交通網は同じようには捉えることはできないと思います。

産業振興の面からみますと業種別団体や工業系企業の振興協議会で将来の産業活力創出のために意見具申や提言を行っています。そこでは、特に税制・金融の経済的問題のほか、技術振興・人材確保・企業立地・交通基盤整備・中心市街地活性化など振興、改善も含めて数的にも中心となる中小企業の経営の安定充実を図りたいと推進しています。それが「雇用の安定・財源の創出」につながり、安心できる市政へと展開されるものと考えています。

千曲市の産業（工業・商業）の地域化（ゾーン化）がより鮮明になると、インフラ整備はもとより、人の移動、モノの移動も効率的になり利便性も見直されます。そうすると、国・県の資源の還元、例えば公的な振興施設の建設促進につながったり、信大・善光寺バレーや長野・上田知的クラスターとの連携が一層強くなり、地元への還元も大きくなると考えます。このように、産業用地の確保のための施策は重要で、工業用地・商業業務用地の設定や確保が遅れると振興・発展に問題があるということの理解も必要と思います。

私は既存の地域活力をさらに向上させて、将来構想の充実につなげるためには、行政のみならず、市民の協力も得て市をあげての産業振興・立地・誘致の活動に大きな関心があり、賛成意見を持っています。高齢者社会に向けた高齢者雇用の拡大にも関心があります。産業の発展はご存知のように経済の活性化のみならず、研究開

		<p>発の教育・技術の向上になり、人の育成がはかられ、それが社会的問題となっている「継承問題」の解決にもつながるものでないでしょうか。若い人や児童・生徒へのもづくりやビジネスへの興味を醸成する教育にもつながる可能性も大きいと思います。</p> <p>工業・商業の振興ビジョンは、別に振興協議会や審議会があり提言もされているところですが、立地環境は大きな要因を持っています。商工だけでなく、農の面でも環境保全との共生や専業農家・農地減少は深刻な問題と聞いています。産業と同様な課題があり、ゾーンの中にまた小ゾーンができることは、将来を考えるとできるだけ避けたいのではないのでしょうか。将来を考えた新しい土地利用の考え方が必要と感じます。</p>		
19	H20. 2. 29	<p>基本的な考え方で、中心市街地活性化として具体的に早く進めてもらいたい。</p> <p>町の発展として前からいわれているとおり、新幹線の新駅設置に向けて進めていってほしい。</p> <p>少子化・高齢者社会に対応した町づくりの推進。支部活動の支えとして夫婦・女性店員さんを使っているのも女性たちの意見を聞く場所・会議をつくってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の活性化については、これまで商店街等の活性化を中心とした対策にとどまり、都市機能の集約の観点に乏しかった面があります。</li> <li>今後、従来の商業関係者に加えてまちづくりの方向をリードする専門家、地権者等、幅広い立場の主体が参加できる組織を整備し、必要な事業を一体的に推進する仕組みや集中的に実施していくための支援制度の充実を図ります。</li> </ul>	千曲商工会議所 殖生支部
20	H20. 2. 29	<p>バイパス開通を市民の多くが待ち望んでいるところである。しかしながら開通しても、道路の両側が農地のままというのでは、ただ、排気ガスをまき散らされるだけのようと思われるのです。バイパスを利用して、地域が活性化される施策を望むところです。そして、その分、山手に掛かる、農地が荒れるにまかせている部分を何とか、行政の力で補って頂ければと思います。</p> <p>上流、つまり水の流れ出す所には工場はもっていかない、川上には農業をしていく大切な土地を育てていく施策をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用の基本方向を、従来の開発を中心とした量的拡大（利用面積の拡大）から保全を図る質的向上に転換を図るとともに、開発と保全を明確化し、市の発展方向を見据えた土地利用を進めて参ります。</li> </ul>	J A ちくま
21	H20. 3. 3	<p>標記について、市報ちくま2月号に掲載されておりましたので、日頃感じていることをお話をさせていただきます。千曲市計画の内容にそぐわない点もあろうかと思いますが意見としてお聞き下さい。</p> <p>さて、平成19年12月21日付けで千曲市農業委員会から「農地現況調査票」が配布され、使用土地の現況と将来への考え方を記</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見のとおり、優良農地の確保の観点から「所有から利用」への考え方に立って農地の有効利用を進めることが重要と考えます。</li> <li>・市民が農地を含む市土の管理に関心を持ち、積極的なかわりを持つ動きが各地で出現していることから、多様な主体の協働と参</li> </ul>	パブリック コメント

		<p>入する内容でした。現況、所有者の意向（貸しますか、売りますか）でしたが、市内にもたくさんの荒廃地（未使用草茫々）が見られます。いろいろな事情がありますが、行政は一言で高齢化が進んでいると片付けてしまうところがありますが、その土地を荒廃させない取り組みを実行していかなければなりません。市側も家庭菜園等で貸し出す取り組みをしていますが、荒廃させた土地を斡旋することはできません。行政が土地所有者と話をし、借りたい人がいつでも借りられるように草の除去をしておくようなシステムを考え、実行する必要があると考えます。私事ですが、草茫々の土地を除草し、耕運機を掛けいつでも作物が作れるようにしています。千曲市の肥えた土地を荒らしておくのは「もったいない」です。定期的に除草のために耕運しておくだけでも将来の千曲市のためになります。身近なところから環境を整えていただきたいと思います。</p>	<p>加による市土の維持管理の確立に取り組んで参ります。</p>	
22	H20. 3. 6	<p>1. 大変良くできているが、中山間地ならどの市町村にも対応できる文章。千曲市とはこんなものか。千曲市のオリジナリティは無いのか。</p> <p>2. 「～を図ります」「～をします」「～を進めます」：主語が無い。無責任。※誰が、何を、いつまでにやるのか？</p> <p>3. 計画の工程を示してほしい。（下記を踏まえて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の達成度は、どのような基準により、誰が、いつの時点で評価を行い、どのようにしてパブリックコメントを受けるのか？</li> <li>・詳細な実施方法はいつ出てくるのか</li> </ul>	<p>・1について 本計画の理念や土地利用の基本方向を踏まえ、本市の特性を生かした土地利用を進めて参ります。</p> <p>・2について 公共の福祉の理念に沿い、向こう10年間の土地利用の基本的方針を市が定めるものです。</p> <p>・3について 目標の達成度は、計画策定より概ね5年後に計画の点検を行います。評価基準については、総合計画に定めた成果指標を含め具体的な基準を設定し、市報、ホームページにより意見提出を募集します。</p> <p>実施方法については、本計画が策定された後、都市計画の基本的方針を示す都市計画マスタープランを策定するなど、順次個別計画の見直しに着手して参ります。</p>	千曲商工会議所

		<p>4. 本計画の目玉は？（千曲市の独自性は？）</p> <p>5. 時代の状況に合うよう用途地域の見直しを望む 時代の状況に合うよう計画道路の見直しを望む （計画破棄も視野に入れて） 時代の状況に合うよう第一種低層住居専用地域の「外壁1m後退」の破棄を望む</p>	<p>・ 4について 従来の開発を中心とした量的拡大（利用面積の拡大）から土地利用の質的向上に転換を図ることを基本としておりますが、市民生活の場としての安定した生活空間を構築していくためには、暮らしの面からの取り組みと同時に生活の糧としての産業を活性化させ、雇用を創出し、次代を担う若者が住んでみたい、住み続けたいと感じるまちづくりが重要と考えます。 そのため、北陸新幹線上田・長野間新駅誘致への取り組みを促進するほか、国道18号バイパスの早期開通を目指すとともに、一部開通による周辺地区の土地利用の高度化を図り、地域住民の日常生活や企業活動に直接的な効用をもたらす交通基盤の整備と土地利用を進めるなど、市の発展方向を見据えた計画としました。</p> <p>・ 5について 都市計画マスタープランの策定を進める中で検討して参ります。</p>	
23	H20. 3. 10	<p>ゴミ処理場は中区に賛成です。 近くに熱を利用した施設があると便利です。都会から孫が来ると長野や上田のプールへ遠くても行って参ります。千曲市にも皆さん望んでいると思います。大人も子供もプールでの運動は良いと思います。おとりプールはいつでも使えなくて不便です。 屋代駅近くのルートインの北側は何になるのか注目です。</p>	<p>・ ゴミ焼却施設は、市内9会場において説明会を開催しご意見を頂きましたので今後建設場所の決定に反映して参ります。なお、余熱利用については、建設地が決定した段階で地元のご要望をお聞きしながら検討して参ります。</p> <p>・ ルートインの北側は、私有地でありますので市は関与して参りません。</p>	地域審議会
24	H20. 3. 12	<p>・ 半過での事故が何回か発生しているのので、とにかく早めに、国道18号バイパスの開通を願います。</p> <p>・ 工業用地の整備、拡充にあたって適地への工場立地誘導を図る場合、該当する会社には、即通知してほしい。各会社でも建物の補修や、設備を何年間かの予定でしていると思います。この不景気な時代に無駄な経費をかけたくないと思われれます。</p>	<p>・ 国道18号バイパス整備については、引き続き整備促進を要望して参ります。</p> <p>・ 適地への立地誘導については、個別に検討して参ります。</p>	地域審議会

25	H20. 3. 14	<p>地域審議委員に参加させていただき、市政の事が勉強することが出来ほんとうに有がたく思っています。</p> <p>基本構想3にありました南部市街地地域の者です。</p> <p>今上山田温泉街は本当に低迷しております。各自の企業努力も必要でしょうが、今何が必要なのか？我々の年代の人達が良い時を過ごしてしまっ、これから世の中どうなるのかと先を見る目がまったくなかったのが、今の現状になっているのではないかと思います。</p> <p>新幹線が出来る時も、高速道が出来る時も、戸倉に駅を、おぼすてに上山田へおりの道路をと声を大にして言えたら出来たのでは…。今さらいろいろ言っても仕方ありませんが、上山田温泉の為には決して良い選択ではなかったと思います。これから大きな事業をするときは、50年後100年後のことを考えて、まちづくりをしていただきたいと思っています。</p>	<p>・行政主導のまちづくりから、市民との協働によるまちづくりに転換を図りながら、総合計画に基づき市民が安心して、心豊かに暮らせる地域社会を市民の皆さんと一緒に築いて参ります。</p>	地域審議会
26	H20. 3. 14	<p>国土利用計画について（千曲市総合計画）の会議に出席させて頂いて、千曲市の国土計画は市の将来の根幹をなすものと思いました。基本構想から計画予算に合わせての実施に至るまで、人と営み、人の心の豊かさにまで影響する大切な計画です。</p> <p>屋代に在住する私は、メイン通りの大規模の道路工事、家屋の新築工事を毎日見て来ましたが、スピードを増す車社会と、歩行者自転車を利用する人達とのかかわり合いが、どの様になるか考えさせられます。又、豊かな田園をくり広げている屋代たんぼは花作り、麦に稲作に、この近くに住んでいる幸せを感じます。</p> <p>利用区分の内容で、農業用地の面積が減少するとの事、輸入に頼らざるを得ない日本、広やかなたんぼの休ませず、利用して頂きたいと消費者として願わずにはられません。</p> <p>千曲市の将来の発展には、新幹線高速道の充実があげられますが、私は、今一番身近なゴミ焼却炉の土地の確保を考えます。更埴市時代からゴミの分別、減量、そして堆肥化は大変進んでいました。バイオマス構想は素晴らしいものと思います。環境を考えゴミの減量をめざしながら有意義な土地利用が出来ればと切実に思います。市民側として、小さな集会をくり返ししながら協力したいと思います。</p>	<p>・地球温暖化対策が喫緊の課題です。そのため、省エネルギー型社会構造への転換、森林の整備保全、生態系の維持・形成、循環型社会の実現等、「持続可能な社会」構築のための様々な対応が進められています。</p> <p>今後、人口増加・高度経済成長の時代には困難であった市土の質的向上を目指した取り組みの推進を図っていくとともに、環境と共生するための施策も一層進めて参ります。</p>	地域審議会